

この時期にしか見られないチョウ

ぱっとみただけではモンシロチョウにしか見えない白いチョウ。よくみるとモンシロチョウより大きく、黒い点がありません。なんとなくちがうと感じませんか。このチョウの名前は「ウスバシロチョウ」。「ウスバ」と付くのは、羽が半透明で、絵を写したりするときを使うトレーシングペーパーのようです。実はウスバシロチョウは名前こそ「シロチョウ」ですが、アゲハの仲間です。そう言われれば体の部分はアゲハチョウに似ていませんか。

ウスバシロチョウの見られるのは、1年のうちで5月のこの時期だけです。そして、大昔から生き延びてきたチョウでもあるのです。幼虫はムラサキケマンなどの葉を食べて成長します。だからムラサキケマンが見られるこの上南摩小学校のまわりでも見ることができます。晴れて風の弱い日、ふわふわと新緑の季節を楽しむかのように飛ぶチョウ、この時期にぜひ見つけてみてください。

